

極意書

フィボナッチトレーディングの進化論

前書き

私の功績の多くはフィボナッチトレーディングの進化を伝えてきた事にあります。

10 数年の研究の末、フィボナッチを使うライントレードの専門家として 3000 人以上に様々なテクニックやトレードに対する考え方を共有してきました。

2012 年からメール講座やトレード教材の中で、値動きの機微にある、今まで誰も明かさなかった「値動きの秘密」とも言うべきものを、様々なフィボナッチの使い方と共に解き明かしてきました。

これまで培ってきた技術を今後トレーディングの勉強をされる方へ残しておくため、フィボナッチトレーディングの専門書として、本書ではあらゆる特異なテクニックの数々をまとめる事に成功しました。

一冊の本で技術の全てを伝えきれとは思いませんが、様々なテクニックの中でも重要なもの、理解しやすいもの、そして他では聞けないような特殊な使い方までも、今ここで知っておいて頂きたいと思うのです。

従来の投資業界の常識を覆すべく始めたフィボナッチとギャンによるライントレード理論。その進化したライントレードの神秘をあなたは目の当たりにするでしょう。

トレードにおいて、フィボナッチの使い方は実は沢山あります。フィボナッチとギャンを使ったライントレードの実用的な手法を”深く”理解すれば、値動きはとても分かり易くなるのです。今まで見えなかったラインが見えるようになり、なぜ下げ止まったのか？なぜ下落に転じたのか？その値動きの裏にある根本的な理由（反転が起こる理由は主に、目標を達成している！）を知る事が可能になります。

値動きをよく見ると、様々なセオリーが見つかります。ご自身で発見して頂いても良いのですが、トレードスタイルとして満足のいく形にするまでには、それなりの時間が掛かるでしょう（私がそうであったように）。

この本を読む事で勉強に費やす時間が節約出来るだけでなく、今までにありそうでなかった圧倒的な優位性を持って相場に挑む事が可能になります。（天底が分かる！など）

「フィボナッチは実はこういう風に使う」のだという新たな発見を、本書を読み終わる頃までには実感される事と思います。

是非とも本書をご活用頂きまして、為替、株価指数などのトレードディングにお役立て頂ければ幸いです。なお、これまで支えて下さった会員様に感謝をお伝えして、簡単ではありますが前書きと代えさせていただきます。

スリースタータードットジェービー 大野乃生

極意書 フィボナッチトレーディングの進化論 ～目次～

/第1章 ライントレードの基本 _____ 10

- ▶項目1 支持線抵抗線よりフィボナッチ _____ 11
- ▶項目2 トrendと持ち合いの判断基準 _____ 13
- ▶項目3 エリアトレーディングという考え方 _____ 15
- ▶項目4 ダウ理論とフィボナッチ _____ 16
- ▶項目5 ブレイクアウトか反発か _____ 20
- ▶項目6 資金を守るための3つの約束 _____ 22
- ▶項目7 インジケーターを捨てろ _____ 30
- ▽コラム 万能感を捨てよう! _____ 31

/第2章 フィボナッチトレーディングの基本 _____ 33

- ▶項目1 基本数値 _____ 33
- ▶項目2 拡張数値 _____ 34
- ▶項目3 基本理論 _____ 36
- ▶項目4 天底とフィボナッチ _____ 39
- ▶項目5 ブレイクとフィボナッチ _____ 41
- ▶項目6 半値とフィボナッチ _____ 43

▶項目7	フィボナッチの基本と売買ルール	44
------	-----------------	----

▽コラム	資金は給料の3分の1まで	46
------	--------------	----

/第3章 デイトレードの極意 _____ 48

▶項目1	デイトレードの考え方	48
------	------------	----

▶項目2	仕込みを理解する	50
------	----------	----

▶項目3	目標値を覚える	52
------	---------	----

▶項目4	極み～裏～	54
------	-------	----

▶項目5	3つの極み	58
------	-------	----

▶項目6	デイトレードテクニック1	61
------	--------------	----

▶項目7	デイトレードテクニック2	64
------	--------------	----

▽コラム	あなたはデイトレード向き？	70
------	---------------	----

/第4章 フィボナッチトレーディングの極意 _____ 72

▶項目1	デイトレードでは収まらない進化	72
------	-----------------	----

▶項目2	大きな抵抗と小さな抵抗	73
------	-------------	----

▶項目3	全ての判断基準は「ここ」にある。	74
------	------------------	----

▶項目4	週の目標値	76
------	-------	----

▶項目5	月の目標値	80
------	-------	----

▶項目 6	年の目標値	82
▶項目 7	サンプル PART1	87
▶項目 8	サンプル PART2	90
▽コラム	相場の秘密	93

/第 5 章 新！時間帯における考察 96

▶項目 1	デイトレーダーのための時間戦略	96
▶項目 2	4 時間足の流れ	97
▶項目 3	4 時間足の秘密	100
▶項目 4	4 時間足の中で何時に買えばよいか	101
▶項目 5	4 時間足の進行を覚えよう！	102
▶項目 6	押し目の時間・伸びる時間	103
▶項目 7	絶好の売買タイミングはこれだ！	105
▶項目 8	時間戦略をマスターしよう！	110
▽コラム	チャンスには乗るな	128

/第 6 章 新！ギャン大事典 130

▶項目 1	基本数値・基本理論	130
▶項目 2	ギャンファン(基本)	132

▶項目 3	ギャンファンの設定	134
▶項目 4	ギャンファンの極意	136
▶項目 5	スケールの違いと合わせ方	140
▶項目 6	ギャンリトレースメント	144
▶項目 7	ギャングリッド	146
▽コラム	なぜギャンを使うのか？	150

/第 7 章 新！フィボナッチ大事典 152

▶項目 1	セオリーの交錯	152
▶項目 2	フィボナッチリトレースメント	161
▶項目 3	フィボナッチチャネル	176
▶項目 4	フィボナッチファン	184
▶項目 5	フィボナッチアーク	187
▶項目 6	フィボナッチタイムゾーン	195
▶項目 7	フィボナッチエクспанション	200
▽コラム	フィボナッチのマジック	208

/第 8 章 相場の相対性理論 211

▶項目 1	値位置＋時間＋相対性がベスト！	211
-------	-----------------	-----

▶項目 2	時間理論を取り入れる	218
▶項目 3	市場間の相関関係は武器になる	221
▶項目 4	基幹商品は CFD にあり	223
▶項目 5	FX&CFD トレーダーになろう	227
▶項目 6	CFD の取引環境を整える	228
▶項目 7	デモと低リスクから始めるトレード	229
▽コラム	ハイレバか国内か(税制面の違い)	230

/第 9 章 ライントレードの極意 232

▶項目 1	ライントレードのまとめ。その 1	232
▶項目 2	ライントレードのまとめ。その 2	234
▶項目 3	使いこなすために。ケース 1～3	239
▶項目 4	トレードルールの作り方 (14 例)	250
▶項目 5	売買日記と資金管理の考え方	273
▶項目 6	マインドセットの作り方	275
▶項目 7	私があなたに伝えられる全て	277
▽コラム	トレードをやめるべき人	278



第1章 ライントレ ードの基本

【この章で学べる内容】

最初に知っておきたいライントレードの基本。ライントレードの概要と基礎知識をお伝えするのがこの章の目的です。

/第 1 章

ライントレードの基本

まずはラインの基本から学びましょう。

ライントレードは、移動平均線などのインジケーターによる売買とは違い、主に実際の値段を使った売買手法です。値段はチャート上では「縦軸」（値位置 100 円など）となります。「横軸」は時間を表します。

値動きに山と谷があるとしたら、山の頂上にある値段に「水平線」、谷の底にも水平線を引けます。これらは架空の数値やインジケーターが算出した値段ではありません。実際の高値であり、安値。つまり、トレーダーなら誰もが意識する値位置です。

フィボナッチでは横の線を「リトレースメント」と呼びます。その値段へ来ると、値が戻されるライン。それが「フィボナッチリトレースメント」です。私はこの専門家ですので、フィボナッチについては本書では今後も沢山出てきます。是非覚えておいて下さい。

上記した「水平線」というのは、単に横の線という意味です。主に前の高値安値の値位置に引き、支持線・抵抗線として使います。

ラインを使った売買の基本となるのは「支持線と抵抗線」。

支持線は買い支えになるライン。抵抗線は上昇を止めるライン。斜めのラインでも水平線でも、下落の抵抗（買い支え・下支え）なら支持線、上昇の抵抗なら抵抗線と呼びます。支持線はサポート、抵抗線はレジスタンスとも言います。英語版の呼び名ですね。

斜めの線や縦の線に関しては実際の値段とは違い、高値の切り下げを結んだライン（下向きの斜めの線）や、時間を表す横軸の線（縦の線）であったりします。※20 ページ、195 ページ参照

まとめますと、「支持線・抵抗線」には水平線や斜めの線があります。時間を表す縦の線をそう呼ぶ人はいませんので、「横の線か斜めの線」だけです。フィボナッチリトレースメント（通称フィボナッチ）は水平線と同じように支持線や抵抗線として、つまり反発・反落するラインとして機能します。「抵抗になった」「サポートされた」などと言う事もあります。次の図を見てみましょう。

▶項目 1 支持線抵抗線よりフィボナッチ

■水平線・抵抗線・支持線

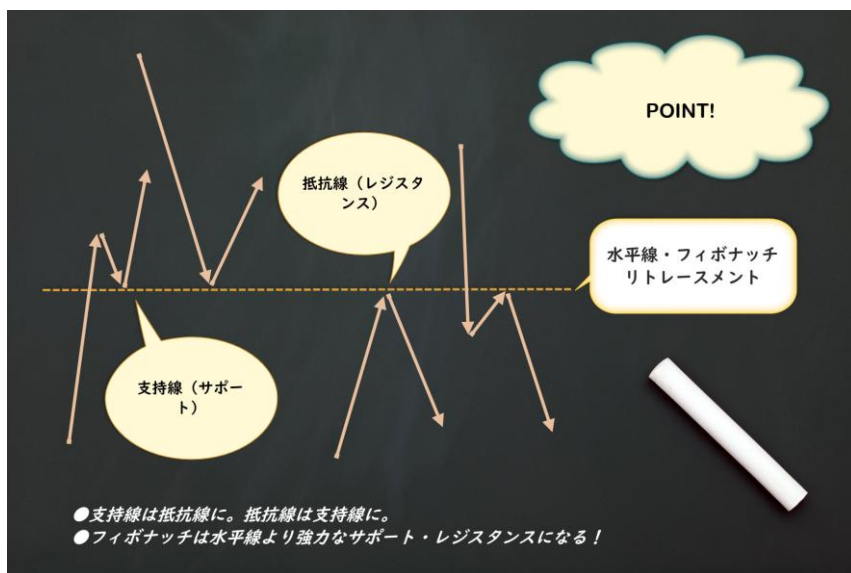


図 1 水平線とフィボナッチ

支持線・抵抗線となるラインと値動きの関係性を表しています。左から順番にこのような意味合いになります。

1. 上昇してきた値動きが一度上にブレイクして、その後サポートされた。
2. 下落してきた値動きが支持線で支えられて上昇した。
3. 上昇してきた値動きが抵抗線で下落した。
4. 下落してきた値動きが一度下にブレイクし、そのラインはレジスタンスになった。

では、その「支持線・抵抗線」となった値位置（横の線）は何の値位置でしょう。
考えられるものは幾つがあります。

1. 過去の高値安値の値位置（水平線）
2. 節目の値位置（100 円丁度・ゼロ目 77・33 など）

3. フィボナッチリトレースメント

今回は、専門分野である3の「フィボナッチリトレースメント」の話をしましょう！

■水平線よりフィボナッチ

そもそも高値安値に水平線を引くとよく言いますが、フィボナッチを使うと高値安値の値位置に水平線は引けています。高値はフィボナッチでは「1」、安値は「0」です。

しかし、水平線（前の高値安値に引くという意味に限定すれば）とフィボナッチには決定的な違いが幾つもあります。まずは、どの高値安値にもフィボナッチを当てるわけではありません。重要な値位置にのみ引きます。

水平線のトレーダーの方が、フィボナッチを使うトレーダーよりも、やたらと多くの高値安値にラインを引いているように見受けられます。

フィボナッチを引く値位置というものは幾つかに絞る事が出来ます。それでも、水平線よりも多くの値位置に機能します。これはどういう事なのでしょう。

フィボナッチを高値安値に当てると「0、0.236、0.382、0.500、0.618、0.764、1、1.272、1.618、2.618、4.236」という割合に基づいた値位置が一気にチャート上に引かれます。

一度引いただけで最低でもこれだけの値位置が算出されるツールを、やたらめっぽう、あらゆる高値安値に引いていたらチャートがぐちゃぐちゃになってしまいますよね。ですので、重要な高値安値にだけ引くのがフィボナッチリトレースメントなのです。

引く作業は一度。ですが、沢山の値位置を算出可能なツールとして、ただの水平線を引くよりも作業時間の短縮になり、さらにこの先の値動きに対しての「目標値」を算出する事が出来ます。

この「目標値」の精度に関してフィボナッチリトレースメントの右に出る者はいないでしょう。どこまで値が伸びるか？その値段が「目標値」として予め分かっているという、圧倒的な優位性がフィボナッチリトレースメントにはあります。

利食い指値の設定、損切りの設定という作業も、この目標値があればエントリー時点で全て完了させる事が可能になります。

フィボナッチリトレースメント、素晴らしいと思われませんか？

▶項目2 トrendと持ち合いの判断基準

では、フィボナッチリトレースメントを使ってトレンドと持ち合いの判断は可能でしょうか。また、水平線のような意識される値位置を前もって算出可能だとしたら便利です。これを「目標値」と呼びますが、どのように算出すればよいのでしょうか。



図2 持ち合いとトレンド

図2を見て頂くと、底値の持ち合いからトレンドが発生し、目標値へ到達したので再度持ち合っています。

まずはこの「0と1」間の「0.236~0.764」の持ち合いを意識すべきでしょう。高値を「1」安値を「0」とした時、その間にある一定の割合が作られます。第2章で詳しくお伝えしますが、今は「0.236~0.764が持ち合いやすい」と覚えておいて下さい。

次に、目標値について。

1を高値、0を安値として目標値である「1.618、2.618、4.236」などが算出されます。

目標値へ到達すると、抵抗線（上昇時のレジスタンスライン）または支持線（下落時のサポートライン）として機能し、その「目標値をブレイクするまでの間は持ち合いになりやすい」のです。抵抗線による持ち合いは、このチャートに幾つ見つけられますか？

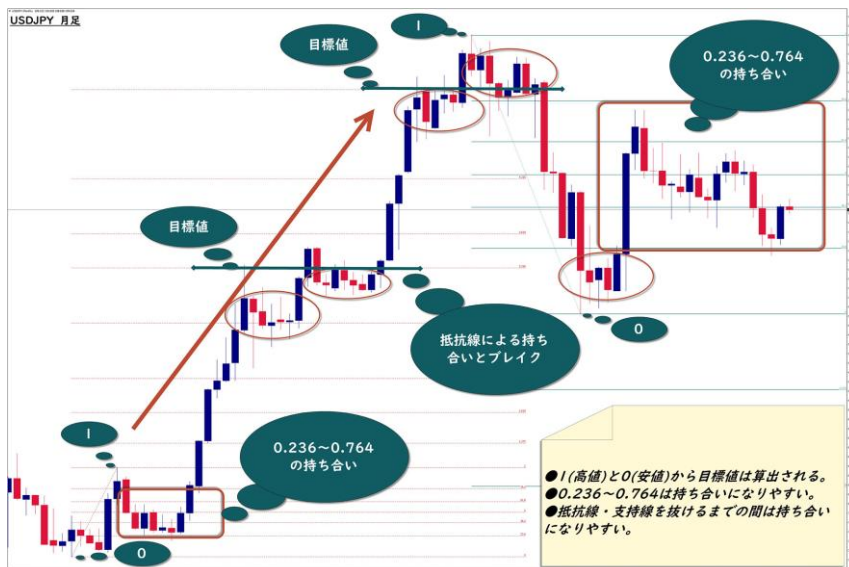


図 3 目標到達時の値動き

図3を見て頂くと、丸を付けた部分に5つの持ち合いを発見出来ます。過去の高値安値は意識されますが（水平線）、未来の「目標値」も意識されるのです。抵抗線（レジスタンス）となった目標値を突破するまで、しばらく持ち合い、ブレイクするとまたトレンドが発生しています。

天井では抵抗線となった目標値をブレイク出来ずに持ち合い、上ブレイクしたら今度は同じ目標値が支持線（サポート）となってさらに持ち合っています。支持線の下ブレイク後は下落トレンドが発生しました。

最後の丸は、最初の丸2つで持ち合いになっていた値位置が支持線として機能していますね。また最初と最後の四角ですが、0と1より後に「0.236~0.764」の持ち合いが出来ますので、正確には図3のように0と1より右側のローソク足が持ち合いです。

つまり、このドル円月足チャートにある全ての持ち合いは、フィボナッチリトレースメントの値位置（高値安値と目標値）で理解する事が可能です。なぜ持ち合うのか？

そこに目標値があるから。または、
0.236~0.764 の間に位置しているから。

そのように説明出来るのです。